

特別版

子供を元気にする。親も元気になる

プレジデント

Family

プレジデント ファミリー

毎日
続けられる
理由を
探れ!

家庭学習が
習慣になる

「ワオスタディー」
5つの秘密



詳しくは…

この魔法の
ペンで…



まったく新しい
通信教育
誕生!

「魔法のペン」で学校と同じ手書き学習 自学自習が身につく ワオスタディー

パソコン+魔法のペンで
学習時間は一日10分

書いた文字が
そのまま
インターネットで
送れる!

「家庭での学習習慣を身につけさせたいけれど、通信教材はなかなか続かない」というお母さんの悩みをよく耳にする。この問題に取り組み、子供が進んで学習したくなるシステムをつくったのが「ワオスタディー」だ。さっそくこの春から「ワオスタディー」を始めたお宅を訪問した。

転入した私立小学校はレポートが主で、勉強の仕方がわからないと悩んでいた石村晶子ちゃん。「ワオスタディー」で今はすっかり自信を取り戻した。

石村晶子ちゃんは小学四年生。パソコンの前に座ると、手際よく「ワオスタディー」の会員サイトを開き、プリント教材を印刷した。教材は、国語と算数の二教科で、それぞれがA4用紙で二枚。晶子ちゃんが「魔法のペン」と呼ぶ「アノトペン」を手に、教材に解答を書き込んでいく。

一教科を10分ほどで終わると、アノトペンをペン立てに差す。すると、書いたばかりの答案が、画面に映し出された。「自分の書いた字が、パソコンで見られるのがおもしろい」と晶子ちゃんはにっこり。

アノトペンは超小型カメラを仕込んだデジタルペンで、教材に書いた文字をデジタルデータ化する。それをパソコンからワオスタディーのサイトへ送信すれば、一日分の学習は終わり。翌日の午後三時までに添削・採点

済みの答案が返却され、パソコン上で確認できる。晶子ちゃんは新聞広告でこの教材を見つけ、自分から「やってみたい」とお母さんに申し出た。昨年一二月、公立小学校から私立小学校に編入したのだが、学習の進め方が公立とは違い、なかなかついていけなかった。塾にも通っているが、それでも追いつけないと感じていた。ワオスタディーは今年三月、体験学習から始め、「これなら楽しく続けられる」と四月から本学習に移った。

「四月(四年生の新学期)からは、学校の勉強がわかるようになった」と晶子ちゃんは言う。パソコンを扱うのも、ワオスタディーを始めてから。まだ二カ月余りだが、手馴れたものだ。

**通信教材は長続きしない
そんな風評を
吹き払う新教材**

ワオスタディーの対象は、小学二年から中学三年まで。小学四年までは国語と算数の二教科で、五年生から英語も選べる。

小学校低学年から中学生の間に、家庭学習教材を利用する子供は、年々増える傾向にある。文部科学省

の調査によると、学校外での学習で「通信添削」を利用している子供は、小学校低学年では20%強。小四〜中三では、一五〜20%の間で推移している。しかし、少し気になるのは、小・中学生ともに低学年では利用率が高いのに、高学年になるにつれて、比率が下がっていることだ。通信添削から塾へ切り替えるケースもあるだろうが、巷間いわれる「通信添削は長続きしない」という実態をうかがわせる。

一方、通信添削を受ける目的では、小・中学生ともに「学校の宿題や予習・復習の指導」を一番に挙げてお



インターネットにつながったパソコンとプリンターがあれば、どこでもOK。新しいeラーニングのかたちを実現した「ワオスタディー」。



ワオスタディーの学習サイクル

START 出発点決定

出発点決定教材で習熟度の確認を行い、その子に合った出発点の教材が決まる。できるところからの無理のない学習で、学習意欲も高まる。



教材をプリントアウトする晶子ちゃん。始めて数カ月で、パソコンの扱いにもすっかり慣れた。



書いて覚える、考える 小中学生こそ大事

り、小学生では全学年で九〇%前後を占めている。自宅学習の大切さは、子供も感じているのだ。自宅での学習習慣を身につけたい。しかし通信教材は長続きしない。この矛盾を解き、一人ひとりの習熟度に合わせて無理なくステップアップできる通信教材を考えたのが、このワオスタディーだ。

パソコンとインターネットを利用するeラーニングは増えていくが、ワオスタディーは他とは異なる特色を持っている。まず紙とペンを使う書き学習であることだ。一般のeラーニングは、マウスやキーボードを使い、パソコン画面上

に答えを入力するものが多い。しかし、学校のテストは紙に書くのだし、ものを覚えたり、考えるうえで「書く」という行為は大切だ。この手書き学習のeラーニングを実現したアノトペンは、ただ書いた文字を画像に撮るのではない。いつ答案を書き、解答にどれくらい時間を要したかがわかるのだ。解答にかかる時間も、その子の習熟度をはかる大事な要素だから、それをアノトペンでモニターし、指導に役立てる。これは、郵送方式の通信教育では、とらえられないデータだ。また、ワオスタディーには指導役の担任もいる。これもeラーニングでは珍しい。戻された答案には、解答の採点に加え、担任の先生のコメントが付される。晶子ちゃんの答案を見ると「とってもよくできています。次も、このちょうしでね」「集中して正かく

無学年制の教材だから 先取り学習が可能

に計算できたね。先生もうれしい！」など、励ましの言葉が赤字で書き込まれている。毎日の学習に「やる気」を引き出す、大切な声かけだ。



担任からの心のこもった書き込みは、けっして1人ではなく、先生と二人三脚で学習していることを実感させる。

ワオスタディーは、教材のカリキュラムにも特長がある。最も注目したいのは「無学年制」だ。多くの通信教材は、学校で習う各学年の学習内容をともにカリキュラムが組まれている。ワオスタディーも基本的には同じなのだが、その枠組みにとらわれない。最初に「出発点決定教材」で、その子の習熟度をはかり、「できる」ところから始める。例えば、晶子ちゃんの場合は、現在四年生だが、三年生半ばくらいの学習内容を復習するからスタートした。教材は、月曜から金曜の五日分を一サイクルとして学習テーマが設定されており、その答案の判定をもとに次の段階へ進む「スマールステップ」方式。だから、無理なくムダなくステップアップできるのだ。これは、基礎学力に重



「掲示板で全国のお友達とおしゃべりするのが楽しい」と話す晶子ちゃん。

晶子ちゃんは毎日、採点結果が返ってくるのを楽しみにしている。採点の戻りに時間のかかる郵送式の通信教材では、何を学習し、自分がどう考え解答したかを忘れてしまいがち。しかし、この教材は翌日の午後三時までに採点が届く。一週間分の学習結果、一カ月分の学習経過もチェックできる。晶子ちゃんは「点数が良かったときと、悪かったときの違いを考えると、ワオスタディーで、自分で考えて進める自学自習が、しっかりと身についたのだ。机に向かう晶子ちゃんの表情には、自信がみなぎっていた。

ワオスタディは 毎日の家庭学習習慣と 「学ぶ姿勢」を 身につける、新しい 通信教育です

ワオ・コーポレーション
ワオスタディ推進室
森本章義さん



ワオスタディは、学力の基本は家庭学習にあるという信念のもと、子供が無理なく楽しく、「毎日」学習できるように工夫されています。システム開発に当たっては、最新のICTを活用しながらも、手で書いて学ぶという、小・中学生の学力形成に重要なアナログ感を残しました。

提出されたプリントの採点答案は、お子さんが翌日学校から帰る頃に、アドバイスと励ましのコメント入りでネットを通してお返ししています。この結果を確認して、また次のプリント学習に取り組むという繰り返しが1教科1日10～15分、平日5日間続けていくだけで、無理なく学年の学習内容が先取りできるよう設計しています。

無学年制のスマールステップ教材は、どこからでも取り組めるという特長に加え、「9割程度の得点で先に進めるカリキュラム」という特色を備えています。完璧主義に過ぎたり、子供が毎日消化し切れない量を与えてしまったりは「自ら学ぶ」ことにつながらないからです。辞書を引く問題を入れるなど、意図的に、立ち止まって考える問題を配置したりもしています。

採点指導においては、間違えた解答について、あえて必要以上に解説しません。こと細かに指示をしてしまうと、子供が「自分で気づく」機会を奪うことになるからです。どこで間違ったのか、なぜ間違ったのかを気づかせるようにもしています。こうして、自ら「学ぶ姿勢」を身につけることができます。

私立小学校に転校してからは、学習の要領がそれまでの公立小学校とかなり違うので、晶子は戸惑っていたようです。この子が「勉強の仕方がわからない」なんて言うのを、初めて聞きましたから。

でも、自分でワオスタディを見つけて「これをやりたい」というので、体験学習をさせてみることにしました。

塾にも通っていますが、学校から「四年生からは、授業の内容が難しくなるので、塾はお勧めしません」と言われています。実際に今、算数で角度の勉強をしているのですが、質問されてもなかなかうまく答えられないところがありますから、親としては教材に助けられています。ワオスタディを始めてから、二教科とっていた塾の授業を一教科に減らしたのですが、それ

もいずれはやめさせようと思っています。やはり自学自習が大切だと思えますし、夜暗くなつてから塾に通わせるのも心配です。今度、フルートを習い始めるのですが、学校の学習だけではなく、いろいろな体験をしてほしいと思っています。ワオスタディのサイトには掲示板があって、会員同士で会話ができるのですが、そこでお友達もできました。晶子はお菓子づくりが好きなのですが、自慢のお菓子レシピを交換合っていますよ。

そんな楽しみも持ちながら、無理なく続けていけるところがこの学習システムの良いところだと思います。

ご両親に
インタビュー



学習への迷いがなくなり
ワオスタディ仲間もできました
石村俊一さん 久栄さん

です。採点が翌日すぐに返ってきて「よくがんばりました！」などと書かれていると、やはり喜んでいきますよ。ほめられるとやる気が出ますよね。パソコンも見る見るうちに上達して、タイピングは今、クラスでも早いほうだそうです。

塾にも通っていますが、学校から「四年生からは、授業の内容が難しくなるので、塾はお勧めしません」と言われています。実際に今、算数で角度の勉強をしているのですが、質問されてもなかなかうまく答えられないところがありますから、親としては教材に助けられています。ワオスタディを始めてから、二教科とっていた塾の授業を一教科に減らしたのですが、それ

だから続けられる「ワオスタディ」5つの秘密

- 1 スモールステップ教材** できるところから少しずつ。毎日1教科10～15分で無理なく学習。
- 2 担任の先生** プリント提出の翌日には採点結果とメッセージが返ってくる。ほめて、励まし、やる気を高める担任制。
- 3 魔法のペン** 手書き文字がそのままインターネットで送れるデジタルペンを使用。
- 4 学習結果** 1週間、1カ月ごとの学習結果や進度がわかり、目標が立てやすい。
- 5 ポイントレース** 学習してポイントを集めると、ステキな賞品がもらえる。

「ワオスタディ」は、(株)ワオ・コーポレーションが開発した新しい在宅学習システムです。

対象/小学2年～中学3年 教科/国語、算数・数学、英語 (英語は小5以上)
 会費/入会金 5,250円 (兄弟入会の場合は不要)
 月会費 <小学生>1教科: 3,990円 2教科: 7,980円 3教科: 11,970円
 <中学生>1教科: 4,830円 2教科: 9,660円 3教科: 14,490円
 システム関連費 1,000円/月 (税込)

●ワオ・コーポレーションは、全国33都道府県285教室、そしてeラーニングにより、幼児から小・中・高校生・大学生・社会人までを対象に、幅広く教育とエンターテインメントサービスを提供しています。
 「学びの驚きと感動をすべての人のもとへ！」

<http://www.wao-corp.com/>

100点 コール
0800-100-5006 <http://waostudy.wao.ne.jp/>
 受付時間 10:00～17:00 / 土日祝を除く